



夏休み明けの9月12日、第2回学校運営協議会が開催されました。

学校の近況が報告され、意見交換が行われました。

### 協議内容：前期学校評価について

#### 評価の良かった項目と考察

##### 【豊かな心】

\*「ありがとう」「ごめんなさい」など、素直に伝えることができた。

##### 〈考察〉

- ・人間関係作りのうえで、本年度、最も大事に指導しているところ。
- ・シェアリング(ふりかえり)を行い、一人一人が自分の良いところ気づく時間を作ることで、児童の自尊感情を高めていく。

##### 【確かな学力】

\*学習したことを振り返り、「できるようになった」「わかった」と感じることができた。

##### 〈考察〉

- ・多くの児童が授業での知識・技術面が伸びたことを感じる。授業での「まとめ」や「ふりかえり」を確実にやっていることの成果と考える。

##### 【健やかな体】

\*学校や学級のために、進んで活動(係や当番の仕事など)できた。

##### 〈考察〉

- ・全体を通して評価が最も高く、児童は活動の達成感や充足感を味わい、教員も児童の様子に成長を感じていることがわかる。
- ・学級の中の自分の役割への満足感は、集団への所属感につながり、自分や仲間を大切に思う自尊感情の向上にもつながる。

### 前期後半・後期前半(充実期)の重点方針

- ① 子どもたちの主体性と自尊感情につながる学習づくり
  - ・全員参加の授業づくり→「対話活動の充実」
- ② 充実期における学級経営・学年経営の充実
  - ・次の見通しへ『しかける』
  - ・波多江小 COCOLO プラン(不登校や行きしぶり支援)の充実と推進
- ③ 関係教員の連携・協働の充実を通して子どもをチームで囲んで(包んで)いく
  - ・定期的・臨時の会議を大切にしたい、対応と見通し・声かけ・報連相の充実

### 意見交換

意見：学校自己評価は全児童にアンケートを取っているのか。  
年代に分けた細かい分析は行っているのか。

回答：アンケートは全児童に実施している。  
年代に分けたそれぞれの結果も、今後は分析していく。

意見：自尊心と自己肯定感の違いとは。

回答：自尊心の中に自己肯定感がある。

意見：子ども自身が長所だけでなく、短所も見つめる必要があるのでは。

回答：自尊感情を育てていくことで、高学年になるにつれて第三者から見た自分に気づき、短所を見つめる力も育っていく。



次回の協議会開催は12月を予定しております